

撮影：小川忠博氏
写真提供：埼玉県教育委員会

資料名　耳飾り

よみがな　みみかざり

時　代　縄文時代

大きさ　平均2.5cm

出土場所　さいたま市　大木戸遺跡



解　説　漆(うるし)と呼ばれる木の樹液が塗られています。水銀と鉄が含まれ、水銀朱(すいぎんしゅ)という赤い鉱物が使われていたと考えられます。

(参考:埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書444集)

縄文時代には、他にどのような色や形の耳飾りがあるのか調べてみましょう。

縄文時代には、耳飾りの他にアクセサリーはあるのかな？調べてみましょう。